

地域と日常的に防災を考える

1キロ防災

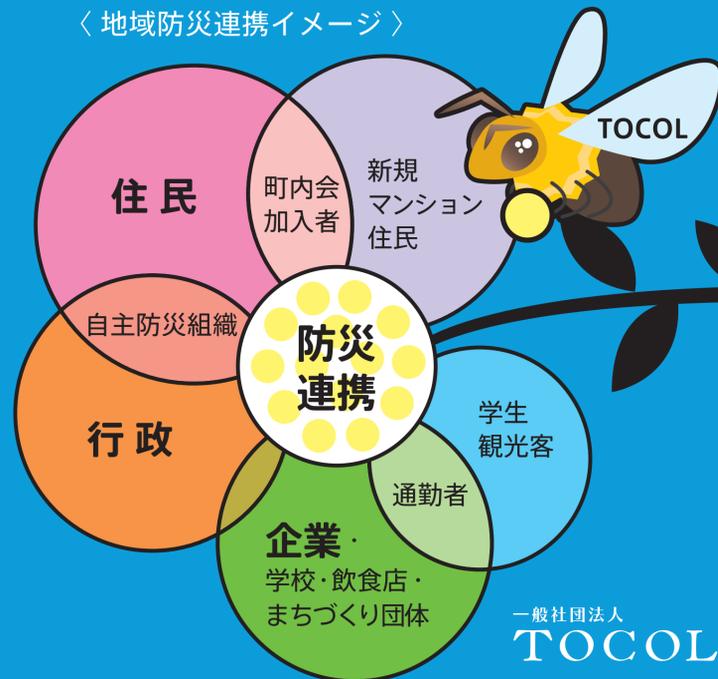


大災害のときには行政機関の動きや消防等の到着を待つだけでなく、その前に“ひとり”でも多くの命を救うために、その場にいる人や地域の人同士で、救出救助活動や初期消火活動を行うことがとても大切です。

1キロ防災事業は、年に一度、地域で生活・活動している人たちが、既存の枠を少しだけはみ出してゆる〜く関わり、顔の見えるインフラ（防災コミュニティ）をつくることを目的としています。

TOCOL(トール)は、地域、行政、企業をつなぎ、新しい地域防災をコーディネートします。

〈地域防災連携イメージ〉



住宅と商業の「混在エリア」で新しい地域防災をはじめました

地域との連携



▲出石地区自主防災会連合会の防災訓練の様子をパネルで紹介。自分が住む場所の学区情報や町内の方と顔見知りになるきっかけにもなりました。

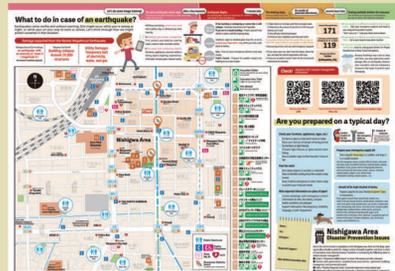
▶2022年「出石地区合同防災・避難訓練」実施

感染症対策として密を避けるために、きらぼしアートセンターと出石コミュニティハウスに分かれて、ライブ配信!!公園に来られない方にもご家庭で観られるように工夫しました。

- 主催：出石地区連合町内会・出石地区自主防災会連合会
- 共催：岡山市消防団出石分団・岡山市立大元公民館、一般社団法人TOCOL・きらぼしアートセンター
- 協力：岡山市

ぷらっと西川との連携

エリアに特化した防災マップ(フリーペーパー)を発行。日本語版と英語版を作成し、配布。



2022年の様子は、上記よりKSB瀬戸内海放送Youtubeチャンネル【こつこつ防災】でもご覧いただけます。

企業との連携 防災見本市& あおぞら教室



災害対策から日常生活での備えまで、防災関連の情報、製品が、下石井公園に集結!岡山県内企業の取り組みをご覧いただきました。

出展企業 [2022年実績]

岡山トヨタ、イオンモール岡山、スポーツオーソリティアウトドア、NHK岡山、萩原工業株式会社、株式会社良品計画、あなぶきハウジングサービス、西川アイプラザ・幸町図書館、岡山市危機管理室、TOCOL



防災訓練体験

「知っている」と「経験したことがある」の間には、大きな差がありました!

いざというとき「行動を起こすことをためらわない」人になるために、防災キャンプでは様々な体験を公園に訪れた方々に提供しました。



身近な物が簡単に役立つアイテムになることがわかって勉強になりました。お母さんを持ち上げられた!



コンロから火が出て、ぐわあ〜って急にすごい火が迫ってきて怖かった...壁とか天井まで...火が...



油に引火! 意外と消えないものですね...



初期段階は、市職員等が避難所運営を行います。災害の規模によって避難所生活が長期に及ぶことが想定される場合には、避難所内で自治をつくり、自分たちで避難生活環境を整えていく必要が出てきます。

避難所体験



夜から深々と冷え込み、朝までの最低気温0.8℃! 冬の屋外避難は、こんなにも寒いのかと全身で体感。寝袋やテントがあっても身体に堪えませんでした。by テント泊者



非常用持出袋に入れてあるけれど...食べたことが無かったので良い経験になりました。簡単にできそうだったけど失敗連発で味なしに...経験は大事ですね。



翌朝のヨガ20分。立ったままの簡単なストレッチは避難生活で起こりやすいエコノミークラス症候群の予防に。

ヨナヨナトーク



はじめてたき火をした。最初は火が怖くて近づけなかったけど薪を追加できた! ドッジボールより楽しい!公園の中で枯れ枝とか拾ってくるよ。(その後)煙が出やすい枝とそうじゃないのがあったよ。



西日本豪雨災害時、暖かい食事や野菜が不足しているとの連絡を受けて、西川エリアの飲食店チームで炊きだしをしました。その経験を踏まえて、中華がゆ「防災キャンプver.」を考案。野菜もタンパク質もバッチリ! by 池田促成青果ラボ

防災意識調査

